

enPiT PBL 説明シート

PBL 名：
アジャイル開発手法を用いた Web アプリケーション開発
主担当：永瀬美穂 副担当：吉岡弘隆、秋口忠三
PBL テーマ：
アジャイル開発手法でウェブプログラマーになる
PBL 概要：
<p>アジャイル開発手法である Scrum を使って、Web アプリケーション分野の新しい製品やサービスの企画立案から始まり、プロトタイプ開発によるアーキテクチャベースラインの確立、インクリメンタルな機能強化開発、運用・保守までを実践する。</p> <p>具体的なテーマとしては、楽天株式会社の Web アプリケーション開発用の API を利用し、実用レベルの製品・サービスの開発と運用を経験する。</p>
PBL の目的/受講者の到達目標
<p>Scrum を理解し、モダンな Web アプリケーション開発のための基盤を活用して、価値の高いソフトウェア開発をチームワークで行うことを目的とする。</p> <p>受講者はこの PBL を通じて、楽天 API を利用した Web アプリケーションを作成し、成果報告会で発表する。</p>
受講のための前提知識（履修条件）
<p>原則的には、ビジネスアプリケーション特論のミニ PBL で構成したチームによる演習を行うので、ビジネスアプリケーション特論を履修済みであること。</p> <p>ビジネスアプリケーション演習を受講済み、もしくは、同等のアプリケーション開発能力を有すること。アジャイル開発手法特論を受講していることが望ましい。</p> <p>（最低実施人数 3 名 最大実施可能人数 15 名 ）</p>
進め方（授業の計画）
<p>週 3 コマは集合演習のためのコアタイムとするが、実施時間や実施方法は教員と協議のもと決定する。コアタイムでは、受講者は毎週、動作する Web アプリケーションのデモを行い、開発プロセスの検査および質疑応答を行う。</p> <p>具体的な活動内容は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 1～2 週目：開発環境の整備、計画立案・ 3 週目～10 週目：週ごとに詳細計画立案、実施（アプリケーションの作成）、検査と改善を繰り返す
自由記述欄